第三十六号の四様式(第六条、第六条の二の二関係)(A4)

定期検査報告書

(昇降機)

(第一面)

建築基準法第12条第3項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実に相違ありません。

特定行政庁　　様

年　　月　　日

報告者氏名

検査者氏名

【1. 所有者】
【イ. 氏名のフリガナ】
【ロ. 氏名】
【ハ. 郵便番号】
【ニ. 住所】
【ホ. 電話番号】

【2. 管理者】
【イ. 氏名のフリガナ】
【ロ. 氏名】
【ハ. 郵便番号】
【ニ. 住所】
【ホ. 電話番号】

【3. 報告対象建築物等】
【イ. 所在地】
【ロ. 名称のフリガナ】
【ハ. 名称】
【ニ. 用途】

【4. 報告対象昇降機】
【イ. 検査対象昇降機の台数】(　　台)
【ロ. 指摘の内容】　要是正の指摘あり　　台(うち既存不適格　　台)
要重点点検の指摘あり　　台　　指摘なし　　台
【ハ. 指摘の概要】
【ニ. 改善予定の有無】　□有(　　年　　月に改善予定)　　□無
【ホ. その他特記事項】

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
年　月　日		
第　　号		
係員氏名		

（第二面）

昇降機の状況等

【1．昇降機に係る確認済証交付年月日等】
【イ．確認済証交付年月日】　　年　月　日　第　号
【ロ．確認済証交付者】　□建築主事等　□指定確認検査機関(　　)
【ハ．検査済証交付年月日】　　年　月　日　第　号
【ニ．検査済証交付者】　□建築主事等　□指定確認検査機関(　　)

【2．検査日等】
【イ．今回の検査】　　年　月　日実施
【ロ．前回の検査】　□実施(　　年　月　日報告)　□未実施
【ハ．前回の検査に関する書類の写し】　□有　□無

【3．検査者】
(代表となる検査者)
【イ．資格】　(　　)建築士　(　　)登録第　号
昇降機等検査員　第　号
【ロ．氏名のフリガナ】
【ハ．氏名】
【ニ．勤務先】
(　　)建築士事務所　(　　)知事登録第　号
【ホ．郵便番号】
【ヘ．所在地】
【ト．電話番号】
(その他の検査者)
【イ．資格】　(　　)建築士　(　　)登録第　号
昇降機等検査員　第　号
【ロ．氏名のフリガナ】
【ハ．氏名】
【ニ．勤務先】
(　　)建築士事務所　(　　)知事登録第　号
【ホ．郵便番号】
【ヘ．所在地】
【ト．電話番号】

【4．保守業者】
【イ．名称】
【ロ．郵便番号】
【ハ．所在地】
【ニ．電話番号】

【5．昇降機の概要】　(番号　　)
【イ．種類】　□建築設備　□工作物
【ロ．種別】　□エレベーター(　□斜行)　□エスカレーター　□小荷物専用
【ハ．駆動方式】　□ロープ式　□油圧式　□その他(　　)
【ニ．用途等】□乗用(□人荷共用　□非常用)□寝台用　□自動車運搬用　□荷物用
【ホ．機械室の有無】　□有　□無
【ヘ．仕様】(電動機の定格容量)(定格速度)(積載量)(定員)(踏段の幅)(勾配)
(　　kW)(　m／min)(　　kg)(　人)(　　m)(　度)

【ト．停止階】　　階(停止階床数　　)
【チ．製造者名】

【6．検査の状況】
【イ．指摘の内容】　□要是正の指摘あり(□既存不適格)
□要重点点検の指摘あり　　□指摘なし
【ロ．指摘の概要】
【ハ．改善予定の有無】　□有(　　年　　月に改善予定)
□無

【7．不具合の発生状況】
【イ．不具合】　□有　□無
【ロ．不具合記録】□有　□無
【ハ．改善の状況】□実施済　□改善予定(　　年　月に改善予定)　□予定なし

【8．備考】

（第三面）

昇降機に係る不具合の状況

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

(注意)

1. 各面共通関係
   ① ※印のある欄は記入しないでください。
   ② 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
   ③ 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入し添えてください。
2. 第一面関係
   ① 検査者が2人以上のときは、代表となる検査者を検査者氏名欄に記入してください。
   ② 1欄及び2欄は、所有者又は管理者が法人のときは、「ロ」はそれぞれ法人の名称及び代表者氏名を、「ニ」はそれぞれ法人の所在地を記入してください。
   ③ 4欄の「イ」は、報告する昇降機の台数を記入してください。
   ④ 4欄の「ロ」の「要是正の指摘あり」は、第二面の6欄の「イ」において「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れた昇降機の合計台数を記入してください。「要重点点検の指摘あり」は、第二面の6欄の「イ」において「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークがなく、かつ「要重点点検の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れた昇降機の台数を記入してください。
   ⑤ 4欄の「ハ」は、指摘された事項のうち特に報告すべき事項があれば記入してください。
   ⑥ 4欄の「ニ」は、第二面の6欄の「ハ」において改善予定があるとしているときは「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第二面の6欄の「ハ」で記入された改善予定年月のうち最も早いものを併せて記入してください。
   ⑦ 4欄の「ホ」は、指摘された事項以外に特に報告すべき事項があれば記入してください。
3. 第二面関係
   ① この書類は、昇降機ごとに作成してください。ただし、複数の昇降機について同時に報告する場合には、この書類に記載すべき事項を別紙に明示して添付すれば、この書類を別途提出する必要はありません。
   ② 1欄の「イ」及び「ロ」は、直前の確認(建築基準法第87条の4及び同法第88条第1項の規定により準用して適用される同法第6条第1項に規定する確認。以下この様式において同じ。)について、「ハ」及び「ニ」は、直前の完了検査について、それぞれ記入してください。
   ③ 1欄の「ロ」及び「ニ」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入してください。
   ④ 2欄の「イ」は、検査を複数の日にまたがって行ったときは、その最終日の年月日を記入し、「ロ」は、直前の報告について記入してください。
   ⑤ 2欄は、報告の対象となっていない場合には「未実施」のチェックボックスに「レ」

マークを入れてください。

⑥　2欄の「ハ」は、前回の定期検査の結果を記録した書類の写しの保存の有無について記入してください。

⑦　3欄は、代表となる検査者並びに当該昇降機の検査を行ったすべての検査者について記入してください。当該昇降機の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。

⑧　3欄の「イ」は、検査者の有する資格について記入してください。検査者が昇降機等検査員である場合は、昇降機等検査員資格者証の交付番号を「昇降機等検査員」の番号欄に記入してください。

⑨　3欄の「ニ」は、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、勤務先が建築士事務所のときは、事務所登録番号を併せて記入してください。

⑩　3欄の「ホ」から「ト」までは、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、検査者が法人に勤務していないときはその者の住所について記入してください。

⑪　4欄は、昇降機の維持保全を行う者が3欄の「ニ」の勤務先(検査者に勤務先がないときは、検査者)と異なるときに記入することとし、当該維持保全を行う者が個人のときは、「イ」は氏名を、「ハ」は住所を記入してください。

⑫　5欄の「番号」は、報告する昇降機を特定できる番号、記号等を記入してください。

⑬　5欄の「イ」は、建築設備である昇降機の場合には「建築設備」のチェックボックスに、工作物である昇降機の場合には「工作物」のチェックボックスに、それぞれ「レ」マークを入れてください。

⑭　5欄の「ロ」は、「エレベーター」、「エスカレーター」又は「小荷物専用昇降機」のうち該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、エレベーターであって階段の部分、傾斜路の部分その他これらに類する部分に沿って昇降するものは、併せて「斜行」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑮　5欄の「ハ」は、「ロ」で「エレベーター」の場合に、「ロープ式」、「油圧式」又は「その他」のうち該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、併せてその具体的な駆動方式を記入してください。

⑯　5欄の「ニ」は、「ロ」で「エレベーター」の場合に、「乗用」、「寝台用」、「自動車運搬用」又は「荷物用」のうち該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて、「乗用」の場合に、「人荷共用」又は「非常用」のうち該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

「荷物用」とは、エレベーターのうち、乗用、寝台用又は自動車運搬用以外のものをいいます。

⑰　5欄の「ホ」は、エレベーターについてのみ、「へ」の「電動機の定格容量」は、駆動装置が電動機である場合のみ、「定員」は乗用エレベーターについてのみ、「踏段の幅」はエスカレーターについてのみ、「勾配」はエスカレーター及び階段の部分、傾斜路の部分その他これらに類する部分に沿って昇降するエレベーターについてのみそれぞれ記入してください。

⑱　6欄の「イ」は、検査結果において、是正が必要と認められるときは「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該指摘された箇所の全てに建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは併せて「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、検査結果において、重点的に点検することが必要と認められるときは「要重点点検の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑲　6欄の「イ」の「要是正の指摘あり」又は「要重点点検の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたとき(「既存不適格」のチェックボックスに「レ」

を入れたときを除く。)は、「ロ」に指摘の概要を記入してください。

⑳　6欄の「イ」の「要是正の指摘あり」又は「要重点点検の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ(「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。)、当該指摘に係る項目について改善予定があるときは「ハ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入してください。改善予定がないときは「ハ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

㉑　前回検査時以降に把握した機器の故障、異常動作、損傷、腐食その他の劣化に起因する戸開走行、異常音・振動等(以下、「不具合」という。)について第三面の「不具合の概要」欄に記入したときは、7欄の「イ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該不具合について記録が有るときは「ロ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、記録が無いときは「ロ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第三面に記入された不具合のうち当該不具合を受け既に改善を実施しているものがあり、かつ、改善を行う予定があるものがない場合には「ハ」の「実施済」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第三面に記入された不具合のうち改善を行う予定があるものがある場合には「改善予定」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第三面の「改善(予定)年月」欄に記入された改善予定年月のうち最も早いものを併せて記入し、これら以外の場合には「予定なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れください。

㉒　ここに書き表せない事項で特に報告すべき事項は、8欄又は別紙に記載して添えてください。

4．第三面関係

①　第三面は、前回検査時以降に把握した昇降機に係る不具合のうち第二面の6欄において指摘されるもの以外のものについて、把握できる範囲において記入してください。前回検査時以降不具合を把握していない場合は、第三面を省略することができます。

②　「不具合を把握した年月」欄は、当該不具合を把握した年月を記入してください。

③　「不具合の概要」欄は、当該不具合の箇所を可能な限り特定した上で、当該不具合の具体的内容を記入してください。

④　「考えられる原因」欄は、当該不具合が生じた原因として主として考えられるものを記入してください。ただし、当該不具合が生じた原因が不明な場合は「不明」と記入してください。

⑤　「改善(予定)年月」欄は、既に改善を実施している場合には実施年月を、改善を行う予定がある場合には改善予定年月を(　)書きで記入し、改善を行う予定がない場合には「―」マークを記入してください。

⑥　「改善措置の概要等」欄は、既に改善を実施している場合又は改善を行う予定がある場合に、具体的措置の概要を記入してください。改善を行う予定がない場合には、その理由を記入してください。